

発表日 2026/02/19
タイトル 津波対策推進旬間及び津波避難訓練の実施
担当 危機管理部 危機情報課
連絡先 情報班
TEL 054-221-3694



津波対策推進旬間及び津波避難訓練の実施について 「地震だ、津波だ、すぐ避難！」～少しでも早く、少しでも高く～

1 要旨

本県では、東日本大震災が発生した3月11日を含む10日間を「津波対策推進旬間」と定め、津波に対する正しい知識の普及を図るとともに、避難場所、避難路の点検等による津波避難の実効性の向上を進めてきた。

さらに、津波避難訓練を実施し、津波避難の習熟を図るとともに、成果や課題を整理し、今後の取組に活かす。

2 津波対策推進旬間

(1) 実施日

令和8年3月6日（金）～15日（日）

(2) 主な重点項目

ア 早期避難意識と備蓄の徹底

- 南海トラフ地震臨時情報等の制度に関する正しい知識の習得
- 緊急避難場所・避難路等を確認し、「わたしの避難計画」等を作成
- 原則徒歩による避難であることの理解
- 非常持ち出し品（熱中症対策用品、夜間避難時用の懐中電灯、冬期における寒さ対策用品等も含む）の確認
- 平時から散歩、ジョギング等の外出時に避難路の確認を行うなど、フェーズフリーの考えを意識した取組の推進
- 夜間照明や誘導灯等の整備状況の確認

イ 即時避難の実践・検証

- 総合防災アプリ「静岡県防災」等を活用した避難時間の計測
- 計測した避難時間をもとに「わたしの避難計画」等を検証
- 夜間における津波避難訓練を実施
- 訓練会場（避難先）での暑さ、寒さへの備えの再確認（非常持ち出し品の確認含む）
- 中高生・外国人県民への津波避難訓練参加の呼びかけ
- 訓練を通じた夜間照明や誘導灯等の整備状況の再確認

(3) 主な県の取組項目

- 地震防災センターでは、令和8年3月6日（金）～31日（火）の間、企画展「(仮称)地震だ、津波だ、すぐ避難！」を開催
- 株式会社建設システムと協力して、令和8年3月1日（日）に静岡市駿河区西島にある津波避難タワー（西島）で実施する津波避難訓練において、「わたしの避難計画」の作成を促進

3 津波避難訓練

(1) 統一実施日

令和8年3月8日（日）

(2) 実施市町 沿岸21市町全て

ア 統一実施日に実施：16市町

下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、沼津市、熱海市、伊東市、富士市、伊豆市、焼津市、吉田町、浜松市、磐田市、袋井市

イ 統一実施日以外に実施：4市町

3月1日（日）：静岡市

3月7日(土) 夜間 : 御前崎市
3月11日(水) 夜間 : 牧之原市、湖西市

(3) 訓練の内容等

別紙1 「〈参考〉市町の津波避難訓練計画一覧」のとおり

(4) 訓練参加者

	令和7年度(見込み)		令和6年度(実績)	
	市町数	参加者数	市町数	参加者数
統一実施日	16市町	約112,200人	12市町	36,583人
その他の日	4市町	約28,500人	9市町	108,820人
合計	20市町	約140,700人	21市町	145,403人

※掛川市は令和7年12月7日の地域防災訓練において津波避難訓練を実施し
約2,200人参加